

八事山文庫

八事山・歳時記

奥之院東山本堂大祭

来る11月15日東山本堂奥之院において大祭縁日が厳修されます。

東山本堂は當山で最初に建てられたお堂です。當山は元々修業道場として開かれた歴史があり、創建当時とは周りの環境は大きく変わってしまいましたが、荘厳な雰囲気は当時を偲ぶことが出来ます。

普段の縁日は仏さまと我々衆生とを繋ぐ五色の紐「善の綱」を参拝者の方々がおくりながら祈願しておりますが、大祭では「善の綱おくり」に加え、「善の綱」で御本尊さまと當山伝来の密教法具「弘法大師伝五結杵」とを繋ぎ、皆さまをお



加持する「特別祈禱」をいたします。それにより、御本尊さまに直接御触りいただいた御功德を得られます。

また、特別祈禱をお申し込みいただいた方に當山第五世諦忍大和尚直筆の梵字版木「南無阿彌陀仏」で刷ったお守りを授与致します。

法会の終わりに「落語」を披露致しますが、落語は僧侶の説法から始まったとの歴史があり、仏教にちなんだ演目を予定しております。その後は恒例の蒸かし芋のご接待もあります。どなたでもご参加出来ますのでご参拝ください。(正入)

三千仏名会

12月1日〜5日の間、西山本堂に於いて三千仏名会が行われます。これは、過去・現在・未来の三千の佛名を唱えながら一佛ずつ五体投地礼を繰り返す礼拝行です。この礼拝を十二月に修するのは、年末にあたり一年間に犯した罪業を懺悔し、清らかな身をもって新しい年を迎えようとする意味があります。

起源は、平安時代に宮中の清涼殿で国家と天皇の安寧と息災を祈願する仏事として始まったとされ、「御仏名」や「仏名懺悔」などとも呼ばれていました。詳しく紐解くと八三八年、

奈良の元興寺の僧 静安の発願で、内裏で三晝夜の仏名懺悔を行い、八四六年から諸国国庁でも行われるようになり、国家の年中行事として定着したという記録が残っています。因みに釈迦の誕生を祝う花祭り「灌仏会」は奈良時代に始まり、静安が朝廷や寺院に広めたとされています。

尚、十二月五日の結願法会以外は、僧侶の後方にてご自由に礼拝へ参加いただけます。(永明)



行事の案内

■11月3日(土)〜25日(日)の間の土曜・日曜
七五三身体健全祈禱会

「七五三」の祝いは、子どもの無事な成長を、その節目節目に神仏に感謝し、さらなる身体健全を願う儀礼です。興正寺では、毎年晴れ着に身を包んだ多くの子ども達が祈禱を受け、紅葉をその身に写したような子どもたちの姿が、境内を華やかに彩る晩秋のひととき、ご家族でご参拝ください。

◆祈禱料 5,000円(御守・千歳餅つき)

◆申込方法 ①興正寺公式ホームページ「お知らせ欄」から ②来寺いただき「納経所」にて

■11月24日(土) 10時〜14時 光明殿大ホールにて
ウポーサタ瞑想一日修養会

「ウポーサタ」とは布薩(つまり仏教徒としての戒律を読み上げ、我が身を振り返る儀式、供養、読経、座禅、昼食、瞑想をしていただき、仏教徒としての責を新たにさせていただきます。今回は三千仏名会と新年について学び、懺悔文と十善戒の内容を味わい、日常に生かしていただきます。

◆支具料 一般 2,000円 三寶講(修養会会員) 1,500円 ※いずれも精進井当つき

◆申込方法 光明殿内 永代供養受付まで

◆申込締切 11月21日(水) 17時

■11月10日(土) 10時〜15時

興正寺月釜

今年最後となる興正寺月釜。竹林に囲まれた茶室での茶席で、深まる秋をお楽しみください。

◆懸 巻 表千家 長谷川如隠

◆受 付 9時〜14時 西山本堂入口 ※興正寺担当席もあります

◆茶 券 薄茶席二席 1,500円

■10月28日(日) 13時30分〜15時30分 西山本堂にて
大護摩供

高野山伝大阿闍梨で、前人未踏の百萬枚護摩を成満された流口重観大僧正、護摩を修しておられる最中の大きな炎にご自身の手で護摩木を投じて祈願いただくことができます。

◆護摩木 一願 1,000円

◆受付 納経所

【行事中止のお知らせ】

誠に残念ですが、本年、左記の行事は開催いたしません。
●紅葉まつり
楽しみにお持ちいただいた皆さまには大変申し訳ありません。来年以降の開催につきましては、現時点では未定となっております。また「八事山文庫」等でご案内させていただきます。

興正寺開山和尚 天瑞圓照和尚 三百回御遠忌

興正寺開山天瑞圓照和尚に寄せて

天瑞圓照和尚の足跡をたどる(11)

川端 壹晋

開山和尚は興正寺を創建し、広大な境内地にくつもお堂を建てられました。お堂にはそれぞれ本尊となる仏さまとその脇侍などが祀られました。その中に開山和尚の御作と伝わるものがあります。「御作」とは、字のとおり解釈すれば、「自身の手でつくられたということですが、僧侶であった開山和尚が仏像を造像されたのでしょうか。」

これについて文書に記録が残されている仏像があります。興正寺総本尊 大日如来坐像と能満堂本尊 虚空蔵菩薩立像(秘仏)です。そもそも大日如来坐像は大きなものですので、鑄造に当たり試し像がつくられました。試し像は銅像と木像がつくられ、興正寺と動物館であった水野家に残されていました。試し像は試行錯誤を繰り返して、開山和尚が直接造像された像で、総本尊は総監督として指揮し、建立されたものといえるでしょう。こうしてみると開山和尚は、僧侶であると同時に確かに仏師でもあったようです。

「仏師」とは、主に彫刻のうち仏像を専門につくる人を指します。誰もが思い浮かべるメジャーどころは、工房制で彫

に革新をもたらした「運慶・快慶」や各地を巡り修業の中で十二万体の仏像を刻んだ「円空」あたりでしょうか。

そもそもお釈迦さまが教えを説いていらした「仏教の草創期」には仏像はなく、むしろ偶像崇拜を禁じていました。それが、お釈迦さまの入滅後、目に見える形を望む一派が積極的につくられ、インドから西アジアに伝わり、ギリシャ彫刻の影響を受けて中央アジアに広まり、中国、朝鮮を経て日本に伝わりました。この仏教伝来の折に大陸から仏師たちが渡来し、現在の日本の仏像と仏教美術の礎を築きました。「二刀髻髻して彫仏す」とは、開山和尚が能満堂秘仏を彫像される様子を記した言葉ですが、材に一度刃をたて刻む毎に三度礼拝したということで、仏の姿を向き合った木の中に見ていらしたのではないのでしょうか。現代の仏師の方も「彫るのではなく、仏があらわれてくるのだ」と仰っていたのを思い出しました。

カレンダー連動企画(11)

【第十一回】— 仏師としての天瑞和尚 — (平成30年11月カレンダーより)

興正寺の境内には七つのお堂があり、そこに祀られている仏さまの中に開山和尚御作と記されている尊像が散見されます。その一部をご紹介します。

- ◆ 西山本堂 阿彌陀如来像・薬師如来像・釈迦如来像
- ◆ 能満堂 秘仏 虚空蔵菩薩像
- ◆ 観音堂 三十三観音
- ◆ 大日堂 大日如来像
- ◆ 普照殿 普賢菩薩像

多くの仏像を残された開山和尚ですが、いずれも端正で美しい顔立ちで、その技量が窺えます。そんな中、一際特徴的な面立ちをしているのが能満堂の秘仏虚空蔵菩薩像です。開山和尚を頼り、遠く房州清澄寺(現在の千葉)から「焼失した虚空蔵菩薩像を造像いただき」と焼け残った手の先を持って訪れた方たちの想いに応え彫られたのですが、そのお姿は何ともおらかなものでした。無事完成し清澄寺へ祀られたのですが、和尚は残木で同じ像を彫像して興正寺の能満堂に奉安されました。千葉と名土屋、遠く離れた地を隔つた二つの仏さまが見守っておられるのです。秘仏の為、毎年三月五日と十三日の特別開扉の折にしか

はじめに — 平成三〇年は、興正寺開山天瑞圓照和尚の三百回忌です。各地を歴訪する中で真言律宗の寺院建立を志し、縁あってこの八事の地に「八事山遍照院興正寺」を創建した和尚は、いかなる人物であったのか。寺に伝わる文物からそれを紐解き、一年にわたりご紹介いたします。また、今年の興正寺カレンダーでも同内容を掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

ご尊顔を拝することはできませんが、機会があればぜひご参拝ください。

開山和尚は、宝永四年(一七〇七年)に弟子の忍海に住職を譲り、西山に隠居されました。その後は弟子の育成と彫仏などをして過ごされたといえます。(川村)



△毎年三月の秘仏特別開扉の様子



△換け残った手など

寺宝通心

— 第33回 —

この書は、金の文人で詩文書画に通じ、金代へと謳われた王庭筠の詩からとられたものです。

世事雲千變 浮生夢一場
偶然攜杖杖 來此掃胡床
有雨夜更靜 無風花自香
出門多道路 何處覓牛羊

「世事は雲が千変するがごとく、浮生は夢一場のこと」と詠み、「世の万事はすべて変化が多く雲に似ている。ほかない人生は一場の夢を見たに過ぎない」との意です。

金朝(1115-1234)は、中国の北のあたりを支配した女真族の王朝です。遼・北宋を滅ぼし、西夏を服属させて力をつけ、中国の南を支配していた南宋と対峙しましたが拮抗し、後にモンゴル帝国に滅ぼされました。激変する世を詩に詠み、百年あまりで消えてしまった王朝の姿を今に残した王庭筠は、やはり金代へと謳われた人物



一行書 浮生夢一場

であったのでしよう。めまぐるしく変わる世にあつて、人生を夢の一場と詠んだ内には、儂さよりもそれを受け流すしなやかさがあるように感じます。しなやかに、したたかに、時代を駆け抜けたひとりの才が残した詩は、今も多くの書家によりあらわされています。

女真族は漢字と契丹文字に影響をうけた女真文字という独自の文字を用いていました。これは金朝が滅びたのちも東北部に逃れた女真族に用いられていたようで、十五世紀に建てられたとされる碑文には、漢文、チベット文字、モンゴル文字に交じりそれを見ることが出来ます。王朝は滅びても、文字や文化は生き延びた。この一文に惹かれるのは、そんな背景もあるのかもしれませんが。

この一行書を揮毫したのは、高野山管長第四〇二世津田実雄大僧正です。その心に浮かんだものは何であつたのか、想像をふくらませながら向かい合ってみてはどうでしょうか。

(川村)

お茶がおしえてくれたしあわせ

竹翠だより

「5つの間で五節句を」

お正月飾り、桃の節句に端午の節句、七夕、重陽(こもも)のころ、四季の移りかわりと共に訪れる様々な行事に心弾ませたものです。今のようにたくさんのお物やことであふれていなかった時代に両儀はその時できる範囲で準備し祝つてくれました。大人になった今、忙しい日々の中でも思いがけず、その記憶が私をほっとさせてくれることに気づくことがあります。

道具、竹翠亭では、林間の室礼と題し、五節句を竹翠亭の5つの間で茶しめたいと思つた。あらためて五節句を眺めてみると、中国から伝来し、平安、戦国時代と変遷しながら、江戸時代に庶民に広がり、その後さらに日本の自然と心が生んだ美意識が添えられてきました。今回は伝統的な工芸や茶として鑑賞する価値のみならず、そのお飾りを囲んで、集い、祝い、折るという気持ちも大切にしたいと思つてきました。

今回の室礼に全面協力いただきました(資)大西人形本店の大西嘉彦氏は、「お節句の飾り

(竹翠)

方には、伝統の形はありますが、厳密な決まりごとには意外と少ないようで、素材もらずに季節を染しむくらいの感覚でお人形を出したりお花を活けたりして楽しむことが、節句専門店としての最大の喜びですと語ってくれました。

五つの節句に限らず、新月や観音など、我が家流で季節の行事を染しむ積み重ねがその家の風景となり、文化に仕上がっていく。自宅での季節の室礼の写真を送ってくれる友人は、人柄のままの華やかで優美なお飾りなのですが、お嬢さまといふように足し算、引き算をするそうです。こうして大切な日本の宝物を次の世代に渡していくのです。

さて、お正月、お正月料理も良いけれど、いつものお正月飾りをもっと工夫して、我が家らしいインテリアの中で、昔ながらのお正月遊びなどを団圓の中に加えてみてはいかがでしょうか。

興正寺月釜

晩秋の趣あふれるお茶席です。当日受付もあります。

日時 11月10日(土)

10時〜15時※受付は14時まで
※最終日は15時まで

場所 竹翠亭・耕雲亭

※入口は本堂横

茶券 薄茶席二席 千五百円

懸釜 表千家 長谷川如隠

※竹翠亭担当の席もあります



子ども寺子屋くらぶ

興正寺には「八尋窯」と呼ばれる窯があります。境内にある樹木から葉を選び、自分だけの銘々皿を作ります。

日時 11月24日(土)

10時〜12時・13時〜15時

受付 竹翠亭

参加費 子ども二、〇〇〇円(呈茶付)

付 添 五〇〇円(呈茶付)

新 杜のコラム

「懺悔」

人は一日に何も悪いことしていないなど思う日でも千以上の罪を作るといわれている。罪と言いつても色々で、法的に罪を問われてしまうものや社会でのルール、また学校や家庭での決まり事として罪とまでいわずとも悪いことはたくさんしてしまう。それだけでは千もの罪にならないような気がするが、他にも罪を問われてしまうものがある。

仏教の世界では「十悪」といって、身・口・意の三業からなる罪悪がある。身業は行動をもつて作ってしまう罪、口業は言葉で作ってしまう罪、意業は心で作ってしまう罪のことだ。身業は「殺生」…生き物の命を奪う。「偷盗」…自身のものじゃないものを奪う。「邪淫」…不誠実な淫らな行いを奪う。「妄語」…嘘をつく。「綺語」…きれいなことをいう。「悪口」…乱暴な言葉を使う。「両舌」…他人を仲違いさせるようなことを言う。意業は「慳貪」…激しい欲をいだく。「瞋恚」…激しい怒りをいだく。「邪見」…誤った見解を持つ。これだけの罪の作り方があり私たちは罪の総合デパートのようなものだ。だから人は罪を改め、より良く生きようとする第一歩が懺悔なのだ。

思う。

十二月に入ると興正寺では「三千仏佛名会」という法会が執り行われる。これは過去・現在・未来の三世には千体ずつの仏さまに仏名を唱えながら五体投地という礼拝の中でも一番丁寧な礼拝をする。一人ずつに礼拝をするので三千回もの礼拝を十二月一日から五日にかけて行っていく。昔はこの寺院でも行っていたようだが今は数えるほどの寺院でしか行っていないと思う。僧侶たちは自身の罪を懺悔するだけではなく、檀信徒の方たちの罪も背負って礼拝をする。礼拝をするたびに僧侶たちから白い煙のようなものが出てくる。これは十二月の寒さの中で身体が熱くなり湯気が出てくるのだ。数を重ねるたびに流れる汗とともに罪を洗い流しているのかもしれない。

高野正清



興正寺さんぽへ出かけましょう!

興正寺の境内をぶ室内♪
八事山文庫を持って、興正寺を歩いてみませんか?
いつもと違った発見があるかもしれません!



興正寺さんぽ⑧ 東山の入口能満堂

東山の入り口まで上がってきました。この興正寺で一番眺めの良い場所から見る五重塔の美しさは、二百年を超えてお寺が大切に守られてきた証です。その間ずっと塔にほほえみを向け、見守ってきたお堂が能満堂(12)です。この古いお堂におられる虚空蔵菩薩さまは秘仏と言って、毎年3月5日と13日の縁日に半日ずつしか直接お姿を目にすることはできませんが、他に地藏さま、大黒さまがいらっしゃいまして、堂前でお参りする皆さまに、前号の通り三仏トリオでまるで野球の連係プレーのように福徳を下さいます。難しいですが、できたら真言もきちんと唱えてください。智慧をもらい、育て、守る仏のいるお堂として、小さなお子さんから年配の方まで、多くの方が参拝されます。さて、お参りが済んだら散歩を続けましょう。お堂に向かって右には五重塔を背景にして、ミツマタからナンジャモンジャまで珍しい植物でいっぱいの小さな庭があります。お堂の前には道を挟んで見下ろすように、法羅陀浄苑という永代納骨墓が見えます。法羅陀というのはお地藏さまの世界のことですよ。お堂向かって左

には、かわいらしいお地藏さまがあちこちに隠れんぼしている法羅陀浄苑というお庭も。こちらは和風の四季折々の植物を楽しみながら歩けます。あら、どこからかきれいな御鈴の音が…。(井上)



興正寺にお参りに来るのを少しでも
楽しみにしていただけるように。

ボランティアスタッフ

左：伊藤 歌那 さん
中央：木村 陰子 さん
右：平井 幸子 さん

Profile

興正寺で開かれていた講座へそれぞれ足を運んでいた御三方。興正寺から声を掛けられたことをきっかけに、ボランティアでの手伝いをはじめた。ボランティア歴10年以上の大ベテランである。



人と街とお寺をつなぐ場所
八事山文庫
地域版

興正寺では、緑日などの行事の際、たぐさんのボランティアの方が運営を支えてくださっている。今回は、緑日をメインにボランティアを長年続けてくださっている方々を代表し、伊藤さん・木村さん・平井さんにお話を伺った。



10年以上前からボランティアとして興正寺の緑日などを手伝っている御三方。当時の住職が開いていた真言宗などについて学ぶ講座に通われていたのだそう。そんな折、興正寺から「お手伝いしていただけないか？」と声を掛けられたのをきっかけに、ボランティアをスタートされたという。「何も知らない人よりも、講座でお寺のことを少し学んだことのある人の方が、お参りの仕方など参拝者に何か聞かれた時に返事がしやすいのではないかと」というお話だったので、お引き受けしました。と、伊藤さん。緑日の時は、伊藤さんと平井さんは本堂の所でロウソクやお線香、護摩木の販売等のお世話を。平井さんは、観音堂でのお世話を担当されている。興正寺の職員によると、ロウソクについてもどういふ意味合いがあるかなど仏教的な知識はもちろんだら、興正寺のことも熟知されている頼りになる方達だそう。

そんな興正寺を知り尽くしている御三方に特に好きな場所を伺うと、伊藤さんと木村さんは「本堂に祀られている左側の大開求明王の所が密教らしい雰囲気が出ていて、とてもいい。」とのこと。また、平井さんは「やっぱり、観音堂ですね。長い階段を登ったところにあるので少し大変ではあるんですが、お参りくださった皆さん、今月も無事お参りに来られた」と笑顔を見せられました。お堂自体も広々として雰囲気があつて、鐘をつくことも出来るので。」と話してくれました。



緑日での境内の様子。様々なお店が並ぶ。



本堂前のテントで選挙の受付をする伊藤さんと木村さん。



お参りされる方との会話も楽しみのひとつだという。

【お参りの須知】
〒466-1082
愛知県名古屋市中区八事本町7日
八事山 興正寺 普賢殿内
八事山文庫「仏事のお悩み相談室」係

【お参りの須知】
・ひと言相談 (40文字まで)
・お名前
・年齢
・性別
・ご住所
・お電話番号
(ひと言相談以外は掲載いたしません)

【お参りの須知】
お気軽に「仏事のお悩み相談」をお寄せください。
仏壇じまい・お墓じまい・法事の事...
お参りに必要な事項を明記の上、左記宛先までお送りください。

【お参りの須知】
お参りに必要な事項を明記の上、左記宛先までお送りください。

お坊さんダイレクト・出張版
仏事のお悩み相談室
仏事の疑問に僧侶がホンネで答える
「お坊さんダイレクト」の出張版！
皆様のひと言お悩み相談に、僧侶・
樹田英伸さんがお答えいたします。

Q お守りを貰うとき、何に注意をすればいいですか？
A 御朱印もそうですが、まずは「本尊さまにお参りしてからお求めください。お守りとは「本尊さまの分身を手を合わせる心が一番大切」です。決してお金を出して貰う「買物」ではないのです。ましてや「お守り」が何に効くのか？本堂に「利益あるの？」なんて問いかけは「外」に利益をいただきたければ、まず何よりも仏さまに手を合わせ、心の底から祈ってください。そしてお寺を離れても常にその仏さまに手を合わせるために「分身の入り」お守り」を授けて、折に燃れて取り出して拝めばよいのです。

素材やデザインは本質ではないので、お好みで結構です。むしろ「ご自分の願い事」をかなえてくれるのはどの仏さまなのかをお探しくください。興正寺には大勢の仏さまがおられるので、ごあなたを導く仏さまがあつたことかもしれません。ただ「利益の仏さま」をまずは拝んで、願いに添ったお守りをお求めください。

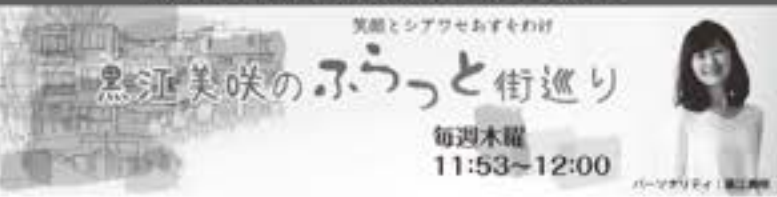


英伸さん



ひらみちゃん

「もっと地元を好きになってほしい」という想いから生まれた
八事山興正寺の提供のラジオ番組です



知ってるお店が登場するかも?! @FM80.7

9月27日 放送 **箱庭**
名古屋市天白区八幡山1218 三恵ビル1F TEL:052-842-9290
【営業時間】平日(月~金)12:00~19:00/土・日・祝日11:00~19:00
【定休日】火曜 ※火曜が祝日の場合は営業(翌水曜日休業)

ペンギンがショーウィンドウでお出迎え。店内には1000種類を超える動物フィギュアが所狭しと並んでいます。リアルな表現は海外製ならで、社長のコレクターから小さなお子さんまで少しずつ揃えるのを楽しみに来店されます。HPから通販もあります。

10月4日 放送 **らぁ麺 貴衆**
名古屋市天白区元八事5-122 TEL:052-842-8710
【営業時間】火~木、日11:30~14:30、18:00~24:00
金、土11:30~14:30、18:00~25:00
【定休日】毎週月曜日、毎月第3火曜日

30年以上が丘で営業していたが、体調を崩し、より健康を意識したラーメンを提供しようとして一年半前にここに新店、鶴と移の白湯専門店、一日分の野菜350gが摂れる一品が一番人気です。学生さんが7~8割の元気のあるお店です。

10月11日 放送 **ABC HOUSE**
名古屋市天白区塩釜口2-903 TEL:052-839-0910
【営業時間】9:00~18:00
【定休日】毎週日曜日

地震対策・防犯対策・リフォームなどの相談に長年のってきたが、東日本大震災の折、現地に赴き復興事業の一員に携わったことから、これまで以上に地震対策の重要性を皆さんに伝えたいと思うようになった。じっくりお話を伺い、適切なアドバイスをさせていただきます。

10月18日 放送 **jhilmil hair design (ジルミルヘアデザイン)**
名古屋市天白区塩釜口2-508 エスポアコンドウ1F TEL:0120-930-782
【営業時間】10:00~20:00
【定休日】毎週月曜、第1・3火曜

髪好きの店長さん。店内にはそこかしこに猫のモチーフが隠れています。使用する薬剤は、肌弱い方でも大丈夫なものを試してから提供しており、安心してお任せできます。名城大が近いことから、男子学生の来店も多いほか、お子さん連れのお母さんにも人気です。

10月25日 放送 **BRANCKET-Leatherworks**
名古屋市天白区元八事4-108 アーバン塩釜1F TEL:052-846-3437
【営業時間】11:00~20:00
【定休日】火曜

6月に熱田から移転。オリジナルラインのデザインとオーダーが魅力の皮の専門店。バッグ、財布、手帖から職人の専門道具入れまで、なんでも作ってもらえます。年和にかけて人気なのは、手帖や財布。クリスマスのプレゼントにオーダーをされる方も。

こちらからもお聞きいただけます <http://fma.co.jp/t/prg/machimeguri/>



根元は150cmを超える倒木

八事のお山の

昨日

今日

あした

先月に引き続き、倒木の写真を載せます。墓地内の大きな古木です。またしても奇跡的に、墓石や地蔵さまの石像などを紙一重で避けるような形で倒れておりました。いくつかの石像の頭、数センチのところまで、他の枝が上手にクッションになって直接当たるのを防いでいたのです。この9月の台風ではかなりの被害が出て、倒れた仏さまも何体か。ありがたい事に無事でしたが、それらの仏さまは地面に静かに横たわって、嵐の過ぎた後の蒼天を見つめられていたように見えました。10月に行われた千燈祭も、元々は濃尾大震災がきっかけです。中秋の名月の日に行われていた儼然な法要を、有縁無縁

の御霊の供養と復興への願いを込めた、寺の最大行事にしたのです。今年は基本に立ち返り、猛暑や各地の地震や、台風、大雨...それらの大自然の息吹のごとき現象に対して被害に遭われた全ての皆さまへの供養と、一日でも早い復興を願いました。お山に響く読経の音は、秋の虫たちから舞い散る紅葉の衣擦れに、やがて冬の静寂へと移行していきます。逝ってしまった様々な命へ、思い出になった大切な場所へ、消えた希望の残滓へ、そして何よりも人智を超えた自然の声に想いを馳せて、八事の森を歩いて見ませんか。

(井上)

「じもポン(地元応援クーポン)」が使える加盟店さんをご紹介します!

地元応援クーポン

じもポン

を使ってみよう!

第8回



モンブランランチトースト

ラ・ボンボニエール

名古屋市昭和区準人町6-12 小林ビル1F
TEL:052-833-5400
営業時間/10:00~18:00
定休日:日、月曜日(土曜日不定休)

地下鉄いりなか駅2番出口から徒歩2分のラ・ボンボニエールは赤い看板が目印のかわいいカフェ。毎日お店で焼かれるパンやケーキがおいしいお店です。この季節に、ぜひ味わいたいのが、「モンブランランチトースト」(1200円)。コーヒーまたは紅茶付き。無農薬野菜を使ったランチやカレーも人気です。ご近所の方が、ついお話しに来たくなる笑顔が優しいマダムが迎えてくれますよ。

お知らせ 掲示板

甘味・食事処 **八琴庵**

11月 季節のそば

鴨汁蕎麦

5・13・21日限定



香ばしく焼き上げたねぎと、紗羅餐特製のめん汁で味付けをした鴨肉をそばに絡めてお召し上がりください。今月の鴨汁蕎麦は温かい汁にざるそばというつけ麺タイプのお蕎麦になります。

11月定休日:11/6(火)・12月定休日:12/11日(火)
営業時間:10:00~16:00(L.O.15:30)
定休日:毎月5日を過ぎた火曜日

十一月・霜月
霜がおりる「霜降月」
収穫を祝う「食物月」

十一月七日 立冬
冬の始まり。木枯らしが吹き、木々の葉が
落ち、早いところでは初雪の知らせが届く
よさづになる。

十一月二十三日 小雪
はらはらと雪が舞い始める頃。積もる
ほどには降らないため「小」の字がつく
とされる。

11月

八事今昔物語り ～そこにお寺のある暮らし～ 15

先回に続いて五重塔のお話を続けます。長い準備時間をかけて造られた五重塔、なかなか資金繰りも難しかったようです。城下の折さまに、わずかずつでも協力をお願いした、当時の資料が残っています。おぼろげな「歴史」で言いますと、開山天瑞圓照和尚の百回忌の頃に五重塔は建立されています。五体の仏さまの坐す新しい塔が見下ろしていたのは、まだあまり開けていない八事のお山です。当時のお寺の中心は、修行の僧侶が住んでいた東山で、現在の奥の院周辺です。そして新暦で4月19日頃に、新しい塔の周辺に極楽浄土を映

したように彩っていたのは、なじみあるソメイヨシノではありません。八事の山の山椒たちでした。現在、塔の周辺を彩るのははだれ桜とソメイヨシノですが、これらの木々はおおざっぱな「歴史」でいう、開山和尚の二百回忌の頃から当時の御住職方が植えられたものです。それからまた百年が経ち、三百回忌の今年はそのころの寿命を過ぎた世代の尊徳を待つておられます。残念ながら予定されていた塔周辺の整備計画は遅れに遅れておられますが、それでも歴史は日々作られていきます。八事の不思議と言われる

「五重塔を中心に、八事の地には火事も無く、疫病もない」という歴史を一日でも長く訪いでいくことが、八事のお山に縁ある私たちの義務と責任であり、願いです。どのような道場も辛い日々も、やがて来る美しい春へのスパイスだと思えます。暦は、明日が必ずやってくることを約束、でも明日は必ず今日と違う日なのです。三百年前に塔の完成を祝った人々や花たちはすでに去り、本当の「歴史」を知っている塔は静かなまなざしで「今」を見守っているのです。

(井上)

今月の興正寺サン



瑞穂区在住
河合さんご家族

お孫さんが司法試験に合格されたことを、霊齋堂にお墓に入られておおいさんに報告するため、ご家族で訪れていた河合さんご家族。おじいさんが生前、終



瑞穂区在住
水野さんご家族

この日、境内を散策されていた水野さんご家族。聞けば、おばあさんのお通夜とご葬儀だという。そんな時にお声掛けしてしまい申し訳ない、おばあさんの姿が見えたと、失礼しようとしたが

「これも何かのご縁ですから、大丈夫ですよ。」と、インタビューを引き受けてくださった。ご近所というところで、親子二代にわたり、お子さんを連れ、興正寺に遊びに来たり、年末の参拝などをしており、現在、中学生のお孫さんは、赤ちゃんの頃から興正寺を訪れているという。

「これもお坊さんのおかげです。無事に観音堂秘仏開扉法会が終了いたしましたことご報告させていただきます。」

参拝者の皆さま、心より厚く御礼申し上げます。



△観音堂秘仏開扉

観音堂秘仏開扉報告

去る10月5日、13日の両日、西山観音堂にて観音堂秘仏開扉法会が執り行われました。

観音堂の御本尊は、秘仏「正観世音菩薩」です。尾張徳川家二代藩主、光友公の自筆で「正観世音菩薩大師御作」という書きつけがあります。この尊像は光友公が、五十年前、念持仏として奉持し、興正寺建立とともに寄進されたものです。

当日は、午前9時より開扉法会が厳修され僧侶の読経の中、秘仏の観音さまの厨子の扉が開かれました。両日ともたくさんのお檀越の方々にご参拝いただきました。

また、秘仏開扉に合わせて、特別祈願をお勧め致しました。密教法具、錫杖にて御加持を行い、観音さまとの仏縁をさらに深めて頂きました。

皆さまのおかげをもちまして、無事に観音堂秘仏開扉法会が終了いたしましたことご報告させていただきます。

興正寺のまなびの講座紹介

御詠歌入門講座

「御詠歌ってなんだろう?」聞いたことはあるけど、「御詠歌はもちろんだ、一回聞いてみたい」「習った事がある」と言う人など、色々な方もご参加いただけます。

真言宗は密教でありますが、密教の一番素晴らしいところは「即身成仏」(生まれてきたこの身このままで成仏できますよ)と言うことです。即身成仏の為には、ここに仏さまを感じながら合掌をしお経を唱えるという修行が必要なのですが、御詠歌をお唱えする事はこの修行にもなります。

ここでは「金剛液」の御詠歌を基礎からゆっくりとお稽古していきます。新しい方がご参加いただく度に最初に戻りますので、どのタイミングでも安心してご参加ください。資料もこちらで用意いたしますので手ぶらでふらっとご参加いただけます。

- ◆開催日時/毎月第1・第3土曜日
- ◆場 所/光明殿2階小ホール
- ◆参加費/無料

お坊さんダイレクト

仏事の疑問(仏壇じまい、墓じまいなど)のご相談などに僧侶がお答えいたします。宗旨宗派は問いません。

- ◆開催日時
- 11月3日(土・祝)・9日(金)・15日(木)
- 10時~15時の間 各50分
- ※予約優先・相談無料

◆お問合せ
受付は納経所または公式HPから

編集後記

11月になると、知らず知らずの内に上を見上げています。色づきは三分だ、その五分が、あともう五分か、と見物した。錦秋の絶景を求めて山に向かう方もいらっしゃいますが、私はもっぱら境内で紅葉を楽しみます。今夏の猛暑で弱った木々がどこまで回復してくれるのか、雨濡れ頑強れと応援をしながら今日も上を見上げます。

興正寺行事カレンダー

11月

普門園拝観(竹翠亭利用)時間 10:00~16:00
 休園日(休業日)/3日(土)、4日(日)、9日(金)、10日(土)、11日(日)
 14日(水)、17日(土)、18日(日)、19日(月)、30日(金)

月	火	水	木	金	土	日
29 大安	30 赤口 ▽絵のない絵解き 11:00 樹田英伸	31 先勝 ▽絵のない絵解き 11:00 樹田英伸	1 友引 ▽絵のない絵解き 11:00 樹田英伸	2 先負 戌の日 ▽絵のない絵解き 11:00 樹田英伸 ◎安産合同祈禱会 14:00本堂	3 仏滅 文化の日 ◎七五三身体健全 祈禱会 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村智弘	4 大安 ◎七五三身体健全 祈禱会 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00
☆秋の宝物展 (拝観時間)10時~16時 ※11/2は15時で終了						
5 赤口 ◎大随求明王 縁日 露店アリ 10:00 千支成満巡り	6 先勝 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山海良	7 友引 立冬 ▽遊翠の心 きもの装い 初級10:00 応用13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	8 仏滅 ◎大日如来縁日 理趣分経祈禱 12:30 大日堂 ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 樹田英伸	9 大安	10 赤口 ◎七五三身体健全 祈禱会 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 ▽阿息観 14:00 奥之院 杉浦宣秀 ☆興正寺月釜 10:00~15:00 二席 1,500円	11 先勝 ◎七五三身体健全 祈禱会 12:00 13:00 14:00 15:00
大随求明王	★八尋庵定休日 ★永代供養受付定休日		大日如来			
12 友引	13 先負 ◎虚空蔵菩薩 縁日 露店アリ 10:00 法話会 10:00 千支成満巡り ★永代供養受付定休日	14 仏滅 戌の日 ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂	15 大安 ◎奥之院東山本堂 大祭 13:00 奥之院 善之綱おくり	16 赤口 ▽遊翠の心 きもの装い 応用10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約	17 先勝 ◎七五三身体健全 祈禱会 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村智弘	18 友引 ◎七五三身体健全 祈禱会 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 ◎観世音菩薩縁日 13:00 観音堂
	虚空蔵菩薩		阿弥陀如来			観世音菩薩
19 先負	20 仏滅 ▽阿息観 14:00 奥之院 杉浦 宣秀	21 大安 ◎弘法大師縁日 10:30 弘法堂 読経/法話 ▽写経写仏講座 11:00 光明殿 ◎月並御影供 14:00 西山本堂 ☆TERA-YOGA 10:00 普照殿 要予約 ☆マルシェ茶席 10:30~13:00 竹翠亭	22 赤口 小雪	23 先勝 勤労感謝の日	24 友引 ◎七五三身体健全 祈禱会 10:00 11:00 12:00 15:00 ☆一日修養会 10:00 光明殿 要予約 ◎地藏菩薩縁日 13:00 龍満堂 大数珠おくり/紙芝居	25 先負 ◎七五三身体健全 祈禱会 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00
	★永代供養受付定休日	弘法大師 興正寺マルシェ			地藏菩薩	
26 仏滅 戌の日 ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂 ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	27 大安 ▽遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山海良	28 赤口 ▽仏典読解講座 10:00 普照殿 樹田英伸 ◎不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話	29 先勝 ▽仏教入門講座 14:00 普照殿 森田泰澄 ▽遊翠の心 茶の屏 10:00 14:00 竹翠亭 要予約	30 友引 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦宣秀	1 先負	2 仏滅
	★永代供養受付定休日	不動明王				

※阿字観(杉浦宣弘師)/御詠歌上級講座(鈴村隆弘師)/御詠歌初級講座(鈴村智弘師)の開講日程については、担当僧侶に直接お問い合わせください。(電話問い合わせ不可)

見学・参加 自由

三千仏名会

12月1日(日)~5日(木) 西山本堂にて
 毎日9時/14時から礼拝 ※1日は8時から開白法会
 ※5日は10時半に結願百札

一年のうち知らず知らず行った業を過去・現在・未来の諸仏の名号を唱え懺悔し、心身ともに清め、新たな年を迎えるために厳修します。

五体投地礼 解読のため簡易的に記載しております

- ① 礼拝する対象に心合せ一礼する。
- ② 合掌を結んだまま、右膝・左膝を地へ付ける。
- ③ 合掌を解きながら手のひらを上へ向け、右肘・左肘を地へ付ける。
- ④ 額を地へ付ける。
- ⑤ 起立して合掌を行なう。